

次期「新宿区産業振興プラン」構成案

第1章 はじめに

1. 背景と目的

- なぜ産業振興は必要なのか。⇒「区内企業の活性化」と「区民生活の向上」の好循環を創造し、「活力ある産業が芽吹くまち」の実現を目指すため、産業振興に取り組むものである。
- 社会経済状況の変化や区内企業・商店会等の現状・ニーズに合った産業振興施策を効果的かつ効率的に実施することを目的として、産業振興に関する総合的計画として産業振興プランを策定する。

2. 計画期間

- 平成30年度～平成39年度の10カ年

3. 位置づけ

- 新宿区産業振興基本条例 第4条に定める総合的な計画。
- 新宿区基本構想・新宿区総合計画の実現を目指した個別計画として取り組むもの。
- 個別の施策については、別途策定する「実行計画」で実施する。
- 現行プランについて（条例制定、産業振興会議の設置により現行プランと位置づけが異なる）新たに策定するプランは、条例に基づき策定する「産業振興プラン」である。

4. 産業振興に向けた主体別役割

事業者、商店会、産業経済団体等、区民における役割

第2章 事業環境において想定される変化

今後10年間の事業環境に影響を与えることが想定される変化

1. 少子高齢化の進行：人口減少・高齢化が進み、人材の確保・育成や事業承継に関する課題が続く。一方、高齢化の進展により高齢者を対象とした市場の拡大が想定される。
2. 働き方改革の推進：上記の変化※に伴い、今までの働き方では対応できなくなってくる。働き方の改革や女性の活躍が必要とされる。
3. 情報化の更なる進展：ICTの急速な進展により、企業活動においてAIやIoT、ビッグデータ等の活用で更なる発展が期待される。
4. 経済のグローバル化の進展：世界経済の成長率は我が国の経済成長率を上回る。市場のグローバル化が進展、事業所規模を問わずグローバル競争下に置かれている。
5. 外国人観光客の増加：訪日外国人観光客が急増し、2020年までに2,000万人から4,000万人に目標変更。国内外の観光客が今後も増加する。
6. 安心安全への関心の高まり：東日本大地震、熊本地震等が自然災害の多発化や不安定な世界情勢のなか、企業も防災や事業継続への関心を高めている。

第3章 新宿区の産業の特徴

1. 新宿の産業とまちづくり

まちづくりの変遷からみた産業の特性：宿場町としての経済発展。明治時代に新宿駅が整備され市街地化が進むなか商業や生活関連産業が発達、新宿駅は、東口駅前を中心に商業施設が集積し一大繁華街へと発展。出版・印刷・製本関連産業の集積や神田川・妙正寺川沿いに集積した染色業者の工場立地等が地域産業の特徴を形成。昭和40年代に西新宿の大規模再開発事業が実施され、日本を代表するビジネス街が形成される。現在では、世界一の乗降客数のJR新宿駅を中心に大規模な消費地を形成している。



新宿の産業はまちの変遷と織りなすように形成され、地域ごとに特性を持った多様性が新宿の産業の特徴となっている。

2. 現在の新宿区の産業にみられる主な特性

- (1) 企業の多様性（業種、従業者数規模、事業年数も多様な企業が集積）
- (2) マーケットの多様性
 - ・新宿の産業が対象とする市場・マーケティング対象は、①グローバルを対象、②国内地域、③近郊、関東圏、④区内
 - ・区内企業はそれぞれの特性を踏まえて、効果的な対象を選定し、ビジネス展開へ

3. 現況からみた新宿区の産業が抱える課題

- (1) 区内企業が抱える課題
 - ・社会経済情勢の変化に対応した事業展開
 - ・人材の育成・確保
 - ・円滑な事業承継
 - ・情報発信力・情報化の強化
 - ・区民の生活を支える商店街の活性化
- (2) 産業振興の視点から見た課題
 - ・新宿のまちの強みを活かした産業振興
 - ・安全安心な環境

第4章 産業振興の視点と基本目標

1. 新宿区の産業振興の視点

新宿区では、以下の視点のもとに産業振興を図っていく。

- 地域に根ざした産業の振興：区内には多くの個性ある企業集積があり、その中には地場産業や商店街等もみられ産業やまちづくり・コミュニティの重要な担い手となっている。これらの、地域とともに発展していく中小企業、商店街、創業者の事業展開を支援する。
- 事業革新による新たな価値創造支援：常に変化する社会や経済情勢、市場ニーズを的確に捉えて、自らの事業を見返し、事業の革新を積極的に図り、新たな市場・価値の創造にチャレンジする企業を支援する。
- 来街者による賑わいの創出：新宿の地域や企業の魅力を高め、新宿ブランドの向上や魅力ある新宿の情報発信、観光振興により、さらなる来街者増加と区内での消費拡大を図る。来街者の増加の機を捉え、新たな事業、産業の創出など来街者向けの業展開を図ることで、来街者を惹きつけ、持続的な地域産業の活性化につなげていく。

【3つの重なり】

3つの視点は相互に重なりあっており、相互の視点からみた産業振興を図っていくことで、相乗効果を生み出されることが期待される。

2. 基本目標



- ・産業は、区民の生活と地域社会に密接なかかわりを持つもの
- ・企業が追求する経済的価値は、様々な社会的課題の解決や豊かな社会の形成に資することから、企業が地域社会すなわち新宿区内に存在すること自体が極めて重要である。
- ・社会経済状況の変化にも適応できる創造力のある産業や、その担い手が次々と生み出されることで、新しい物やサービス、働く場が提供され、好循環を生み出せるような社会を作り出すことが産業振興に求められている。
- ・急速に変化する社会や経済情勢を迅速に読み取り、新宿区らしい「多様性」を活かしつつ、積極的に新たな挑戦に取り組める環境の整備を図ることとする。

第5章 施策の方向性

1. 主な施策テーマ

2. 主な施策テーマに基づいた施策の方向性

施策の方向性	施策テーマ				
方向性1 持続的な発展への支援(仮)	1. 活発な事業活動	●新たな価値創造へのチャレンジを支援	●商店街や個店の魅力向上	●多様な主体者によるチャレンジ精神にあふれた交流・連携の促進	
	2. 経営基盤の強化	●相談機能の充実	●資金調達支援	●鮮度の高い情報の提供	
	3. 円滑な事業承継	●事業承継に向けた準備支援	●円滑な事業承継への支援		
	4. 創業へのチャレンジ	●「高田馬場創業支援センター」を核とした創業支援	●創業期から事業発展期までの一貫した支援	●多様な創業の創出に向けた施策の充実	●商店街を活用した創業支援
	5. 人材確保・働く環境の整備	●中小企業の人材確保支援	●働きやすい環境づくり		
方向性2 変化に対応した取組み支援(仮)	6. ICTを活用した事業展開	●ICT導入支援	●人材の育成	●ICT活用による新たな産業や事業創出に向けた企業間交流の推進	●ICT活用推進施策の検討・実施
	7. 環境変化に対応した市場開拓	●人口構造の変化対応した事業展開支援	●海外市場を視野に入れた事業展開支援		
	8. 来街者の増加を好機とした事業展開	●観光客向けビジネス支援			
方向性3 魅力あるまちづくり	9. 商店街の魅力アップ	●商店街及び個店の魅力向上(再掲)			
	10. 観光の推進	●新宿ブランドの向上	●まちの魅力向上	●新宿の魅力発信	
	11. 安全安心なまちづくり	●円滑な事業継続ができるための仕組みづくり	●地域と連携した安心安全なまちづくり	●誰もが安心して買い物ができる環境整備	

第6章 推進に向けて

1. 推進体制：企業、商店会、産業経済団体等、区民、区（行政）がそれぞれの役割を担いながら、連携のもと推進する。

2. 進捗管理：

- ・産業関連の施策は社会経済環境の変化を考慮しながら絶えず有効性を見ていくことが重要。
- ・新宿区自ら事業の評価を行う内部評価と、区民や有識者で構成される外部評価委員会が行う外部評価から成る行政評価を実施。
- ・個別の施策は実行計画のローリングで見直す。
- ・外部評価の結果は産業振興会議に報告する

3. 産業振興会議の役割：施策の進捗状況の報告を受け、本プランの推進に参考となる情報提供や意見・提案等を行う。

参考資料：第1次実行計画

1. 施策一覧